

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-03 社会福祉協議会支援事業				タイムスコード及び個別事業名	
		□支援部門				6
主管課	福祉政策課・生活福祉課		関連課			
分野名	健康福祉					
目標 (目標値)	社会福祉協議会が適切に運営できるように支援していく。					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	67,008千円	63,822千円		指標と評価	
	(国・県)	0千円	0千円		指標	
	(負担金等)	0千円	0千円		評価	
	(一般財源)	67,008千円	63,822千円			
	人員配置数	0.5人	0.5人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	人件費	4,626千円	4,597千円		目標値	実績値
	協働の パートナー	無	無			
事務事業 運営経費	総事業費	71,634千円	68,419千円	20年度		
	市民1人当 りの経費	405円	388円	21年度		
	対象者1人 当りの経費			22年度		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度		
				最終年度 ( 年度)		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 地域福祉の推進など、社会福祉協議会の果たすべき役割は、増大していくため、事業を自主財源で行うことは、難しいが、事業の見直しを行うなど効率的な運営を行う努力が必要である。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 社会福祉協議会の自立を進めるため、補助金の見直しを行った。(補助対象職員について、すべての経費を補助することから、一部を自主財源で賄うよう協議・検討した。)				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 自主財源の確保に向けた取組みが必要である。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 自主財源の確保に向け、方策を検討し、支援していく。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性	
B	無	事業を継続していく。		B	無	事業を継続しつつ、自主財源の確保に向けて支援をしていく。
課長名	福祉政策課長 山本 賢次			部名・部長名	健康福祉部長 石井 和子	